



港まつり名物の「千人踊り」

浴衣・法被を身にまとい、鳴海公園から緑町中心街まで、新根室音頭に合わせながら約1時間に渡って練り歩きました。沿道で踊りを見ていた女性市民は、「踊りは、見ているより踊った方が楽しいよね。」と話してくれました。

ねむろの街が賑わった2日間

―第55回ねむろ港まつり7/14・15―

根室の夏を告げる「第55回ねむろ港まつり」が、2日間に渡って開催されました。初日正午からの海の祈願祭を皮切りに、市内の園児から高校生までの10団体が参加したジュニアコンサートが行われ、踊りや演奏などを披露し、詰めかけた市民から大きな拍手が送られていました。また、好例の千人踊りには、808人が参加し、色とりどりの



白熱した「舟こぎレース」

2日目は、巡視船「てしお」による体験航海が行われ、親子連れなど、364人が夏の航海を楽しみました。

また、舟こぎレースには、一般12チーム、女性7チームが出場。ピストルの合図とともにスタートし、スムーズに進進する舟、なかなか進まない舟などの中、一般の部は「火の用心」、女性の部は、昨年続き「釧路町QSシャモジース」が優勝しました。港まつりの最後のフィナーレを飾る花火大会では、どんと大きな音が響くと「オオー」などと声が飛び交うほどの歓声が広がり、千四百発の花火が色鮮やかに根室の夜空を彩りました。



ミュージカル風にパフォーマンスを披露する根高生

西高祭 青春奮闘記 根高祭

7月12日～13日
第44回目となる西高祭が行われました。12日は、クラス対抗戦（4種目）が行われ、2年生が3年生を抑えて優勝するという場面もありましたが、2日間合せた総合は、3年生が意地を見せ優勝しました。一般公開では、ダンスや演劇など、思考を凝らした発表に周りの生徒が手拍子するなどの、みんなで学校祭を盛り上げる姿が見られました。



一番熱い夏をテーマにパフォーマンスを披露する西高生

7月11日～13日
第64回目となる根高祭が行われました。合唱コンクールでは、過去最高観客数をマーク、晴天に恵まれた仮装パフォーマンスでは、各クラスが物語の中から飛び出してきたような世界観を再現していました。音響トラブルに見舞われる一幕もありましたが、生徒たちが学年問わず力を合わせ盛り上げる場面がありました。一般公開では完成度の高い創造展で、来場者からはたくさん笑顔が見られました。



夏の陽射しを感じて・・・
―夏の春国岱写真撮影教室6/29―
ネイチャーセンター主催の「夏の春国岱写真撮影教室」が行われ、参加者12名は、時間を忘れるほど夢中で、シャッターを切っていました。今回、写団ねむろの本川勝敏代表ら3人が講師となり、参加者にカメラの使い方などを丁寧に指導していました。撮影会の最後には、ネイチャーセンターへ戻り、自分のとっておきの1枚をプロジェクトに映し、講師の方から講評をもらうなど、参加者全員で作品を鑑賞しました。参加した、福井澄江さんは、「みんなで撮ったことで、周りの意見が聞けて勉強となり、参加して良かった。」と笑顔で話してくれました。